

2017年度第1四半期決算について

<損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2017 1/4	2016 1/4	2016.1/四 → 2017.1/四
売上高	13,554	10,511	+ 3,043
経常利益 [ROS]	1,079 [8.0%]	▲ 120 [-1.1%]	※1 + 1,199 [+9.1%]
特別損益	-	▲ 62	※2 + 62
親会社株主に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益> * [ROE]	713 < 80.8 > [9.6%]	▲ 146 < - 16.4 > [-2.2%]	+ 859 < + 97.3 > [+11.8%]
有利子負債	21,796	20,376	+ 1,420
D/Eレシオ	0.73	0.78	- 0.05

* 年率換算

<諸元>

(1) 当社

	2017 1/4	2016 1/4	2016.1/四 → 2017.1/四
連結粗鋼生産量(万t)*1	1,144	1,116	+ 27
単独粗鋼生産量(万t)*2	990	1,058	- 68
鋼材出荷量(万t)*2	934	960	- 26
鋼材価格(千円/t)*2	84.0	68.1	+ 15.8
為替(円/\$)	111	111	-

*1 2017年度第1四半期より日新製鋼を含む

*2 日鉄住金鋼鉄と歌山を含む

(2) 全国

	2017 1/4	2016 1/4	2016.1/四 → 2017.1/四
粗鋼生産量(万t)	2,608	2,621	- 13
鋼材消費(万t)*3 (うち製造業)	1,514 (951)	1,479 (936)	+ 35 (+ 15)
<製造業比率>	< 62.8% >	< 63.2% >	< - 0.4% >
普通鋼鋼材消費(万t)	1,197	1,169	+ 28
建設	535	517	+ 18
製造業	662	653	+ 9
特殊鋼鋼材消費(万t)	317	310	+ 7
国内メーカー問屋在庫(万t)	*4 587	556	+ 31
薄板三品在庫(万t)	*4 408	403	+ 5

*3 当社推定値 *4 5月末(確報)

※1 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2016.1/四
→2017.1/四

連結経常利益 差異	+1,200
1. 製鉄事業	+1,150
① 生産出荷	-30
② 販売価格・構成	+1,390
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	-1,630
④ コスト改善	+90
⑤ 在庫評価差	+1,000
⑥ グループ会社	+390
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	+180
⑧ 大分厚板火災影響	-60
⑧ その他	-180
2. 鉄以外セグメント	+20
3. 調整額	+30

※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2017 1/4	2016 1/4	2016.1/四 →2017.1/四
特別損益 合計	-	▲ 62	+ 62
事業再編損	-	▲ 62	+ 62

<セグメント情報>

(単位:億円)

	2017 1/4	2016 1/4	2016.1/四 → 2017.1/四
売上高	13,554	10,511	+ 3,043
製鉄	12,088	9,270	+ 2,818
エンシ ^ニ アリンク ^ク	608	554	+ 54
化学	465	392	+ 73
新素材	90	86	+ 4
システムソリューション	581	500	+ 81
調整額	▲ 280	▲ 292	+ 12
経常利益	1,079	▲ 120	+ 1,199
製鉄	987	▲ 161	+ 1,148
エンシ ^ニ アリンク ^ク	▲ 6	12	- 18
化学	25	▲ 12	+ 37
新素材	4	4	+ 0
システムソリューション	50	49	+ 1
調整額	18	▲ 13	+ 31

(次ページにつづく)

2017年度上期及び年度見通しについて

<損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	1/四	2/四見	2017 上見	2016 上期	2016上期 →2017上見	2017FY見
売上高	13,554	13,446	27,000	21,607	+ 5,393	
経常利益 [ROS]	1,079 [8.0%]	421 [3.1%]	1,500 [5.6%]	280 [1.3%]	※ + 1,220 [+4.3%]	3,000
親会社株主に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益>	713 < 80.8>	137 < 15.2>	850 < 96.0>	110 < 12.4>	+ 740 < + 83.6>	

(参考)セグメント情報

売上高	13,554	13,446	27,000	21,607	+ 5,393	
製鉄	12,088	11,912	24,000	19,008	+ 4,992	
エンジニアリング	608	692	1,300	1,165	+ 135	
化学	465	485	950	812	+ 138	
新素材	90	90	180	171	+ 9	
システムソリューション	581	519	1,100	1,060	+ 40	
調整額	▲ 280	▲ 250	▲ 530	▲ 611	+ 81	
経常利益	1,079	421	1,500	280	+ 1,220	3,000
製鉄	987	313	1,300	140	+ 1,160	
エンジニアリング	▲ 6	6	-	15	- 15	
化学	25	25	50	8	+ 42	
新素材	4	1	5	7	- 2	
システムソリューション	50	55	105	103	+ 2	
調整額	18	22	40	4	+ 36	

※ 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2016上期
→2017上見

連結経常利益 差異	+ 1,220
1. 製鉄事業	+ 1,160
① 生産出荷	- 130
② 販売価格・構成	+ 2,450
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	- 2,730
④ コスト改善	+ 120
⑤ 在庫評価差	+ 1,090
⑥ グループ会社	+ 480
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	+ 130
⑧ 大分厚板火災影響	- 100
⑨ その他	- 150
2. 鉄以外セグメント	+ 30
3. 調整額	+ 30

<諸元>

(1) 当社

	1/四	2/四見	2017 上見	2016 上期	2016上期 → 2017上見
連結粗鋼生産量(万t)*1	1,144	1,210程度	2,350程度	2,270	+ 80程度
単独粗鋼生産量(万t)*2	990	1,050程度	2,040程度	2,151	- 111程度
鋼材出荷量(万t)*2	934	1,010程度	1,940程度	1,968	- 28程度
鋼材価格(千円/t)*2 為替(円/\$)	84.0 111	82程度 110程度	83程度 110程度	68.0 107	+ 15程度 3程度円安

*1 2017年度第1四半期より日新製鋼を含む

*2 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2,608	2,629程度	5,237程度	5,254	- 18程度
粗鋼生産量(万t)*3	2,608	2,629程度	5,237程度	5,254	- 18程度
鋼材消費(万t)*4 (うち製造業)	1,514 (951)	1,563 (974)	3,076 (1,925)	3,025 (1,911)	+ 51 (+ 14)
<製造業比率>	< 62.8%>	< 62.3%>	< 62.6%>	< 63.2%>	<- 0.6%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,197	1,240	2,437	2,393	+ 44
建設	535	561	1,096	1,058	+ 38
製造業	662	679	1,341	1,335	+ 6
特殊鋼鋼材消費(万t)	317	323	640	632	+ 8

*3 経済産業省見通し *4 当社推定値

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、2016年度決算発表時(2017年4月28日)において未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき25円(連結配当性向26%)とさせていただきますと予定と致します。

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2130

<2018年3月期 第1四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
	2016年度	2,621	2,633	5,254	2,639	2,623	5,262
2017年度	2,608	(※)2,629程度	5,237程度				

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2015. 6 末	573	(147.3)	420	20.1
2015. 7 末	564	(144.4)	407	19.7
2015. 8 末	586	(169.1)	426	19.8
2015. 9 末	579	(150.4)	421	19.8
2015.10 末	565	(140.1)	413	19.5
2015.11 末	568	(153.0)	408	18.9
2015.12 末	572	(161.4)	409	18.5
2016. 1 末	587	(162.8)	427	18.5
2016. 2 末	572	(156.5)	417	19.2
2016. 3 末	550	(135.5)	411	20.3
2016. 4 末	561	(164.2)	408	19.6
2016. 5 末	570	(160.8)	418	19.8
2016. 6 末	556	(146.6)	403	19.7
2016. 7 末	539	(141.8)	391	19.1
2016. 8 末	567	(164.7)	405	18.7
2016. 9 末	561	(149.4)	397	18.0
2016.10 末	561	(140.4)	396	17.7
2016.11 末	543	(135.3)	383	17.3
2016.12 末	548	(146.8)	381	17.7
2017. 1 末	560	(148.6)	389	18.6
2017. 2 末	566	(153.4)	388	20.0
2017. 3 末	542	(127.1)	380	20.1
2017. 4 末	560	(154.5)	388	19.7
2017. 5 末	587	(159.7)	408	19.7

〔当社〕

3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	1,049	1,076	2,126	1,066	1,024	2,089	4,215
2017年度	992	1,030程度	2,020程度				

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋国内連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	1,116	1,153	2,270	1,152	1,095	2,247	4,517
2017年度	1,144	1,210程度	2,350程度				

（※）2016年度は日新製鋼を含まない。2017年度より日新製鋼を含む。

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	1,058	1,093	2,151	1,084	1,028	2,111	4,262
2017年度	990	1,050程度	2,040程度				

5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	960	1,009	1,968	1,029	981	2,009	3,978
2017年度	934	1,010程度	1,940程度				

6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	68.1	67.9	68.0	70.9	83.6	77.1	72.6
2017年度	84.0	82程度	83程度				

7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	43	43	43	42	41	42	42
2017年度	42	41程度	41程度				

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2016年度	111	103	107	106	114	110	109
2017年度	111	110程度	110程度				

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2016年度	3,510	3,047
2017年度	4,500程度	3,500程度

以 上